

「第1回防衛施設整備に関する意見交換会」におけるアンケート調査票

回答者（企業名）： _____

1. 施設最適化の実施内容について

- 以下の設問について、貴社の考えをお聞かせください。
- ・「実施可否」については、該当する記号を選択してください。
 - ・「実施可能地区数」については、上記設問(実施可否)において「1.実施可能」を選択した場合、該当する記号を選択してください。
 - ・「実行可能金額」については、上記設問(実施可否)において「1.実施可能」を選択した場合、該当する記号を選択してください。

No.	調査項目	実施可否	実施可能 「地区数」 (地区/年)	実行可能 「金額」 (円/年)
1	施設整備の基本方針の整理 (旧耐震基準や基本的性能の付与による 建替・改修、自然災害対策等の基本方針)	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない	/	/
2	個別施設の現状把握 (基本的に既存資料等により確認)	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない	ア.1～5 イ.5～10 ウ.10～15 エ.15以上	ア.0～1000万 イ.1000万～ 5000万 ウ.5000万～1億 エ.1億～5億 オ.5億以上
3	個別施設の整備方針の検討 (既存施設の「建替」「改修」「継続」 を判断、自然災害対策を追加、個別施設 の集約化を検討)	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない	ア.1～5 イ.5～10 ウ.10～15 エ.15以上	ア.0～1000万 イ.1000万～ 5000万 ウ.5000万～1億 エ.1億～5億 オ.5億以上
4	個別施設の配置計画 (ゾーニングを行い個別施設を配置、P P/P/PFIの導入可能性を検討)	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない	ア.1～5 イ.5～10 ウ.10～15 エ.15以上	ア.0～1000万 イ.1000万～ 5000万 ウ.5000万～1億 エ.1億～5億 オ.5億以上
5	エネルギー効率化の検討 (再生可能エネルギー導入等の検討)	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない	ア.1～5 イ.5～10 ウ.10～15 エ.15以上	ア.0～1000万 イ.1000万～ 5000万 ウ.5000万～1億 エ.1億～5億 オ.5億以上

No.	調査項目	実施可否	実施可能 「地区数」 (地区/年)	実行可能 「金額」 (円/年)
6	事業スケジュールの整理 (部隊ニーズを整理、既設ユーザーリ テイの改修計画を検討、仮設建物等の計 画を検討、全体工程表の作成)	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない	ア.1~5 イ.5~10 ウ.10~15 エ.15以上	ア.0~1000万 イ.1000万~ 5000万 ウ.5000万~1億 エ.1億~5億 オ.5億以上
7	概算工事費の算定	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない	ア.1~5 イ.5~10 ウ.10~15 エ.15以上	ア.0~1000万 イ.1000万~ 5000万 ウ.5000万~1億 エ.1億~5億 オ.5億以上
8	設計業務の実施	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない		
9	工事の実施	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない		

2. 施設最適化調査について

○以下の設問について、貴社の考えをお聞かせください。

No.	調査項目	回答
10	自衛隊施設の「施設最適化調査」を円滑かつ適切に実施するためのアイデアがありましたら記述してください。	

No.	調査項目	回答
11	自衛隊施設の「施設最適化」について、思うことを自由に記述してください。	

3. 今後の「防衛施設整備に関する意見交換会」について

○ 以下の設問について、貴社の考えをお聞かせください。

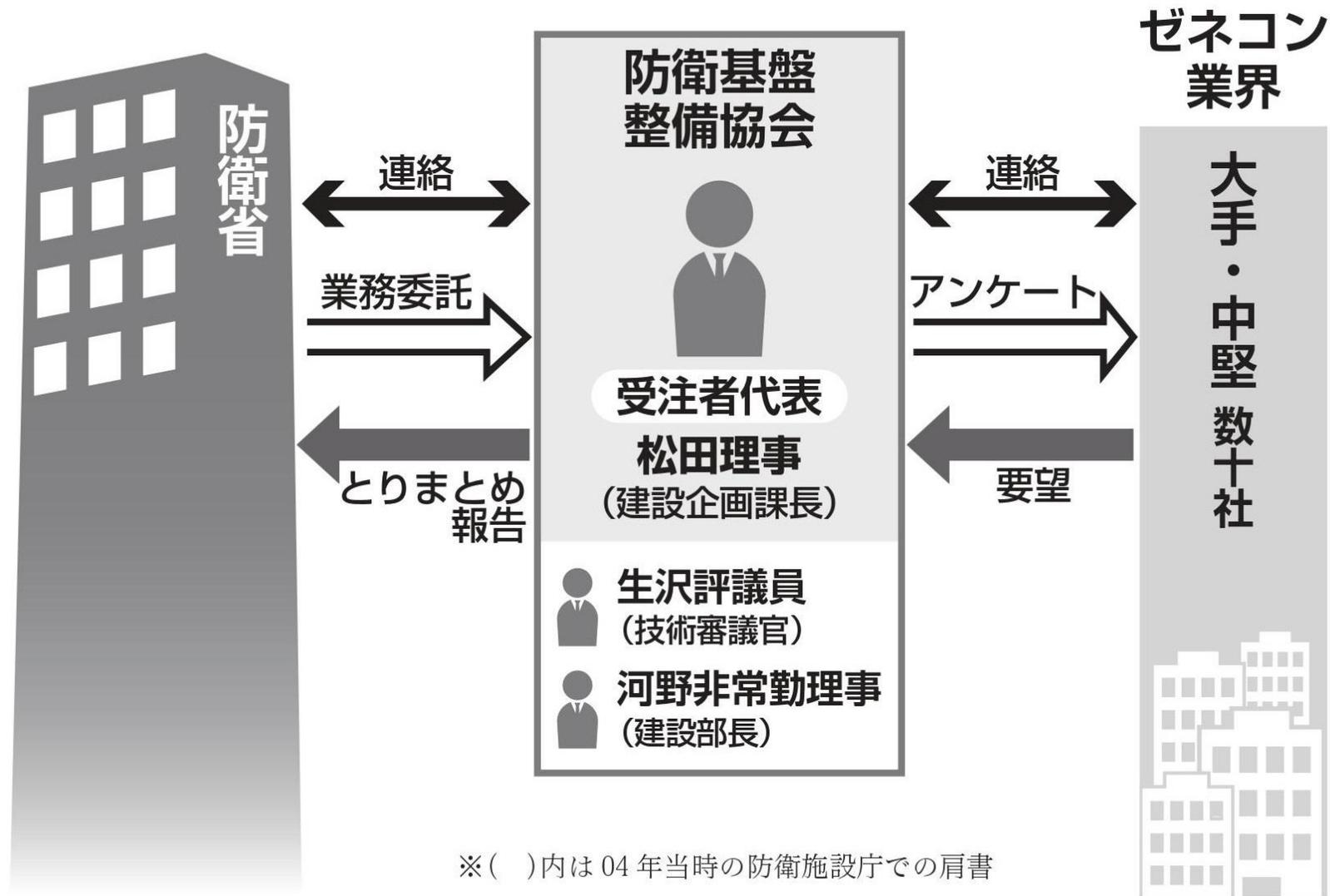
No.	調査項目	回答
12	今後、同様の「防衛施設整備に関する意見交換会」を開催する場合、参加を希望されますか。	ア：参加したい イ：案内を受けてから検討したい ウ：参加しない

○ 設問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

※ご入力いただいた本調査票のデータは、(公財)防衛基盤整備協会宛て

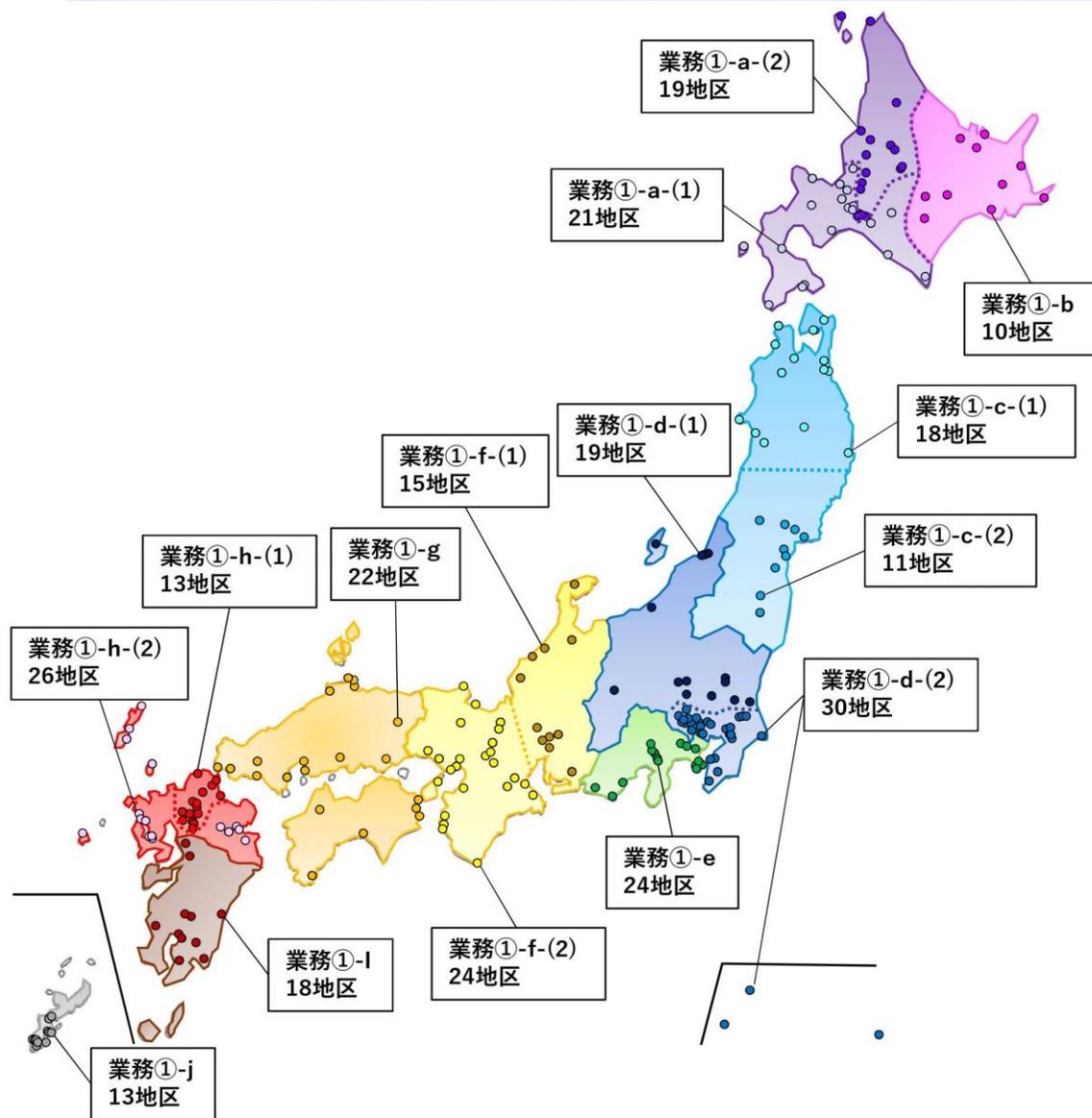
令和5年1月13日(金)までにご返信頂けますようよろしくお願い申し上げます。

基地強靱化事業をめぐる構図



※()内は04年当時の防衛施設庁での肩書

○要望を踏まえたマスタープラン分割案の一例について



凡例

管轄	業務区分	地区数
北海道防衛局	○ 業務①-a-(1)	21
	● 業務①-a-(2)	19
帯広防衛支局	● 業務①-b	10
東北防衛局	○ 業務①-c-(1)	18
	● 業務①-c-(2)	11
北関東防衛局	● 業務①-d-(1)	19
	● 業務①-d-(2)	30
南関東防衛局	● 業務①-e	24
近畿中部防衛局	● 業務①-f-(1)	15
	● 業務①-f-(2)	24
中国四国防衛局	● 業務①-g	22
九州防衛局	● 業務①-h-(1)	13
	○ 業務①-h-(2)	26
熊本防衛支局	● 業務①-i	18
沖縄防衛局	● 業務①-j	13
合計	15業務	283

3 官製談合の構造等

(1) 建設工事の割り振りの方法

起訴された3名が関与した10件の工事に係る競売入札妨害（談合）の事実関係の調査過程において、本件契約はいずれも局発注の工事にもかかわらず、本庁の技術審議官、本庁建設部長及び本庁建設部建設企画課長（以下「技術審議官等」という。）が業界OBと連携し、受注予定業者の割り振りを行うという共通の構造を持つことが明らかになった。

この点について現職及び歴代の技術審議官等経験者を中心に、聴取を行った。その結果、本件事案を含む建設工事を受注予定業者へ割り振るための割振表は、建設系技官（土木・建築、設備及び通信）それぞれの職種職員の再就職先の確保、さらには建設系技官以外の施設庁及び防衛庁OBの再就職先を確保すること及び再就職先でのOBへの配慮を目的として、土木・建築工事、設備工事及び通信工事ごとに毎年作成されており、このような構造が技術審議官等の間で代々引き継がれてきていた。

ア 土木・建築工事

歴代の技術審議官等経験者や、企画官及び歴代の企画官経験者からの聴取によると、割振表は、技術審議官の指示の下、企画官が4月下旬に各局から入手する年間発注予定表を踏まえ、工事の発注予定額、業者の資格・特性、工種、地域の特性等を念頭に、再就職先の確保等につながることを考慮して当該年度の夏頃までに原案を作成し、本庁建設部建設企画課長及び本庁建設部長を経て技術審議官が決定していた。ただし、平成17年度については、本庁建設部建設企画課長が建設系技官から防衛庁I種事務官に代わったことから、松田本庁総務部施設調査官が、建設企画課長から異動後も引き続き関与していた。

なお、特に大規模な工事や、工事の行われる地域の特性によっては、事前に業界のOBを通じて業界の意向を確認した上で、割振表の原案が作成されていた。

また、JVを構成する業者の組合せについても、割振表において指定

されていた。

このように作成された割振表を基に企画官は、各局及び各支局（以下「各局等」という。）が業者選定をする必要のある指名競争入札に係る工事等については、国庫債務負担行為による大規模な工事の発注が始まる9月頃までに、業者選定案の作成者である各局及び名古屋支局の建設企画課長並びに帯広及び熊本支局の計画課長（以下「各局建設企画課長等」という。）に対し、工事件名ごとに特定の業者（発注予定工事ごとに割り振られた受注予定業者）を、その目的を明らかにしないうまま、指名業者に加えるよう連絡していた。

また、この割り振りの結果については、9月頃までに、特定のOBを通じて業界に連絡していた。

イ 設備工事

歴代の設備課長経験者や、設備総括及び歴代の設備総括経験者からの聴取によると、設備工事に係る割振表については、技術審議官の了承の下、設備総括が4月下旬に各局から入手する年間発注予定表を踏まえ原案を作成し、本庁設備課長（ただし、平成17年度については、建築職種である設備課長は関与していない。）の了解を得るという手順を経て夏頃までに割振表が作成されていた。

なお、特に大規模な工事によっては、事前に業界の意向を確認した上で、割振表の原案が作成されていた。

このように作成された割振表を基に設備総括は、各局等が業者選定をする必要のある指名競争入札に係る工事等については、発注が始まる夏頃までに、業者選定案の作成者である各局建設企画課長等とともに、各局等において設備工事を所掌する各局及び熊本支局の設備課長（以下「各局設備課長等」という。）に対し、工事件名ごとに特定の業者（発注予定工事ごとに割り振られた受注予定業者）を、その目的を明らかにしないうまま、指名業者に加えるよう連絡していた。

また、この割り振りの結果については、各工事の発注時期に合わせて、特定のOBを通じて業界に連絡していた。